

公 表 日

平成30年 8月 8日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	大分川ダム管理CIM検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分川ダム工事事務所長 酒井 正二郎 大分市舞鶴町一丁目3番30号 STビル
契約年月日	平成30年 8月 8日
契約業者名	大分川ダム管理CIM検討業務日本建設情報総合センター・九州建設コンサル
契約業者の住所	東京都港区赤坂7-10-20
契約金額	14,904,000円(税込み)
予定価格	14,947,200円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	大分県大分市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成30年 8月 9日
履行期間(至)	平成31年 3月15日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 大分川ダム管理 CIM 検討業務
2. 履行場所 大分県大分市大字下原地先外
3. 契約の相手方 住 所：東京都港区赤坂 7-10-20
会社名：大分川ダム管理 CIM 検討業務
日本建設情報総合センター・九州建設コンサルタント設計共同体
電 話：(03)3505-2981
4. 契約適用法令：会計法第 29 条の 3 第 4 項及び
予算決算及び会計令第 102 条の 4 第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、大分川ダムの管理を効率的に行うために、3 次元データを利活用した、ダム管理 CIM を構築し、試験湛水期間に試験運用を行い、完成時に本格運用ができるようにするものである。

2) 業務の内容

本業務は、計画準備、ダム管理 CIM の検討、データベースの検討、ダム管理 CIM の運用検証、報告書の作成を行うものである。

本業務において、技術提案を求めるテーマは以下に示す 1 つの事項である。

- 1) 将来の管理 CIM 運用を見据えた 3 次元モデル構築についての留意点

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 20 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 23 者が入手（ダウンロード）し、4 者から参加表明書が提出され、4 者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち 4 者を技術提案書の提出者として選定し、4 者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針に係る技術力を備えていると判断され、かつ「的確性」「実現性」に対する技術提案において、有益な提案を行ったものである。

よって、会計法第 29 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 102 条の 4 第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分川ダム工事事務所 調査設計課長